

令和元年6月8日（土曜日）
第1回「ほっと・ぼらんていあ」の報告

今回のテーマは、『興味・関心から始まるボランティア活動』～英会話サークル グロービッシュがボランティアを始めたきっかけ～と題して、ゲストに、英会話サークル グロービッシュ代表の千葉賢二さんをお迎えしてお話していただきました。

千葉さんは、英語で挨拶（自己紹介）してから、活動の紹介をしてくれました。グロービッシュは、弘前周辺に住む人たちに英語を話す場を提供することを目的として2013年10月に設立されました。きっかけは、市内に英語を話す場がなかったから、友だち作りや情報交換の場として、英語の会話をすることを目的に、スクールではなくサークル（英語を教えるのではなく、みんなで勉強して使う場として）活動として考えたそうです。サークル参加者のうち、外国籍の方が2割で、毎回テーマを設定してゲームをしたり、時にはバーベキューをしたりして、連絡不要で自由に参加できるようにしたことで楽しく活動しているそうです。最初は、ボランティアをするつもりはなかったのですが、サークル参加者が実践で英語を使う良い機会だと思い、市の市民参加型まちづくり1%システム事業として、「おもてなし英語観光ボランティアセミナー」と「接客英会話おもてなしセミナー」を開催したほか、さくらまつりでは「May I help you?（何かお手伝いしましょうか?）」と書かれたピンクのビブスと帽子を身につけて通訳ボランティアを行ったそうです。

実際にボランティアをしてみたら、それぞれ違う考え方や、いろんな意見があることに気付かされたと話していました。また、ボランティア＝タダ（無料）という考え方があるが、団体の運営には費用が掛かるので、金銭的な面が一番の問題であり、しっかりとしたサービスを受ける対価として、お金を払う必要もあるのではないかとともに思っていると問題提起してくれました。その後、講座に参加されていた皆さんにも、それぞれのボランティアに対する考え方や思いをお話していただきました。

講座の参加者からは、「ボランティア情報の共有がもっと活発になると良いですね」「ボランティアについての考えが変わりました」「高校生も参加されて新鮮な気持ちになりました。また、ボランティア＝無料、果たしてこれで良いのかと考えさせられました」「また参加したいと思う」などの感想をいただきました。

「ほっと・ぼらんていあ」は、みなさんのボランティア活動に少しでも役立てていただけるように、これからも2か月に1回程開催します。次回は、8月24日（土曜日）の予定ですが、内容はまだ未定です。詳細が決まりましたら、広報、HP、新聞、ラジオ等でお知らせいたします。ボランティアに興味のある方に限らずに、皆さんのご参加をお待ちしています。